

News Release

2025年12月18日

報道関係者各位

東急不動産株式会社
東急リゾーツ＆ステイ株式会社
株式会社ファインダーズ AI ジャパン

ニセコ東急 グラン・ヒラフ

～「Value up NISEKO 2030」プロジェクト第12弾～

新レストラン「NEST813」にAIセルフレジを導入 先進的テクノロジーによるサービス向上を目指した実証実験を開始

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「東急不動産」）、東急リゾーツ＆ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻 稔泰、以下「東急リゾーツ＆ステイ」）、株式会社ファインダーズ AI ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役：李 知珉、以下「ファインダーズ AI ジャパン」）は、東急不動産と東急リゾーツ＆ステイが運営するオールシーズン型マウンテンリゾート「ニセコ東急 グラン・ヒラフ」（以下、「グラン・ヒラフ」）に 2025 年 12 月に開業する新レストラン「NEST813」にて、AI 技術を活用した次世代型セルフレジ「VISION CHECK-OUT」を導入する実証実験を開始いたしますのでお知らせいたします。本実証実験は、先進的な AI 技術を活用し、サービス品質の一層の向上を図るとともに、国際的マウンテンリゾートとして更なる利便性の強化と来場者の体験価値の充実を推進してまいります。



■ニセコから発信するスマートリゾート体験

ニセコエリアは、世界各国から「JAPOW (Japan+Powder+Snow の造語)」を求めるお客様の増加、また雄大な自然環境や四季折々の美しい景観、多様な文化が交差する国際的リゾートとして、近年ますます注目を集めています。一方で昨今の社会環境変化により、人手不足は深刻化しており、より効率的かつ快適なサービスの提供が求められています。グラン・ヒラフではこうした課題解決を解決するため、新しい技術やサービスを導入し、すべての来場者に特別な体験価値の提供を目指します。「NEST813」では、有人・無人の利点を融合した先端的な AI セルフレジを導入し、スムーズな決済を実現することで、食事や滞在を心ゆくまで楽しめる環境を整えてまいります。

■次世代型 AI セルフレジ「VISION CHECK-OUT」について

画像認識 AI セルフレジ「VISION CHECK-OUT」は、Fainders.AI が開発した日本初 360 度型画像認識 AI セルフレジです。バーコードや RFID スキャンの必要がなく、商品を台に載せるだけで 7 台のステレオカメラが 360 度から商品を認識し、高精度な AI 画像認識によって約 99%以上の確度で品目を判別。約 10 秒で精算が完了し、一度に複数商品でも迅速に決済できるなど、従来のセルフレジに比べて利便性・快適性が大きく向上しています。また、機械操作に不慣れな方でもシンプルな操作でストレスなくご利用いただけるほか、混雑時の待ち時間短縮、従業員の業務負荷軽減にも寄与します。本実証実験では、お客様の利用状況やフィードバックをもとにサービス改善を図り、国際的マウンテンリゾートにふさわしい“新しいおもてなし”的実現を目指します。

■事業パートナーについて

東急不動産株式会社

東急不動産は、東急不動産ホールディングス株式会社の中核企業として渋谷に拠点を有する総合デベロッパーです。東急不動産ホールディングス株式会社が 2021 年 5 月に発表したグループ指針となる長期ビジョン「GROUP VISION2030」と 2025 年 5 月に発表した「中期経営計画 2030」の実現に向け、多様なソリューションメニューに基づく豊富な実績や、幅広い事業領域を活かしたグループ連携、パートナーとの共創により、ありたい姿である「価値を創造し続ける企業グループへ」の実現を目指しています。都市事業、住宅事業、インフラ・インダストリー事業、ウェルネス事業、海外事業などを幅広く展開しており、長期経営方針のテーマとして「環境経営」を掲げ、社会に貢献する不動産会社として、都心だけでなく地方での事業展開にも注力しています。

東急リゾーツ＆ステイ株式会社

東急リゾーツ＆ステイは、東急ステイや東急ハーヴェストクラブをはじめ、ホテル・ゴルフ・スキー・EC 事業など、全国に広がる運営施設を展開しています。1960 年代から別荘管理やゴルフ場の運営を手がけ、1980 年代にはスキー場の運営や東急ハーヴェストクラブの運営受託を開始。1990 年代には「東急ステイ」を立ち上げるなど、長年にわたり多彩な施設運営を行ってきました。現在、当社が運営する施設では国内のみならず世界中から多くのお客様を受け入れており、年間利用者数は約 680 万人にのぼります。

豊富な実績とノウハウ、地域・企業・行政などとの強固なネットワークを活かし、日本各地の魅力を伝え、すべてのお客様に新しい”楽しさ”と”体験”を提供することを目指しています。

株式会社ファインダーズ AI ジャパン(親会社：Fainders.AI Inc. (韓国))

ファインダーズ AI は、画像認識 AI を活用したリテールソリューションを提供するテクノロジー企業です。2020 年にサムスン出身のエンジニアたちによって韓国・ソウルで創業され、AI 無人店舗と AI セルフレジの開発・運用を通じて高度な技術基盤を築き、アジア各国へ事業を拡大してきました。2025 年には日本法人を設立。日本の省人化と業務効率化のニーズに応えるべく、AI セルフレジ「VISION CHECK-OUT」を中心としたソリューションを開発し、スタッフがより価値ある業務に専念できる環境づくりと、来店者に新たな購買体験をもたらす取り組みを進めています。

■東急不動産が進める「Value up NISEKO 2030」について

2030年に向け持続可能な発展を目指すリゾート、選ばれ続けるデスティネーションとして、世界に通用する「NISEKO」ブランドを行政・地元企業・地域の方々と連携して、課題解決やエリアの活性化を企図したまちづくりプロジェクトです。2022年10月に北海道・俱知安町と「スキーの町宣言50周年を契機とするオールシーズン型国際リゾートの形成に関する包括連携協定」を締結し、スマートリゾート推進のほか、スキー場の索道更新などのハード面整備だけでなく、オールシーズン化に向けた施策などソフト面の取組みも地域連携を強化して取り組んで参ります。ソフト面の取組みとして、グリーンシーズン活性化に向けた取組みの他、"ファーストトラック"の権利を付した国内初のスキーNFT「Niseko Powder Token2.0」の実証実験や積雪を利用した発電事業の社会実装実験、スキーバレーサービスの試験運用を実施しました。ニセコ 東急 グラン・ヒラフは、「アジアNo.1の国際的リゾート」の実現を目指し、来場者の体験価値向上に向け、今後も複数の取組みを推進してまいります。

なお、これまでお知らせしてまいりましたValue up NISEKO 2030 プロジェクトについては、下記URLよりご参照ください。

<https://www.tokyu-land.co.jp/wellness/resort/niseko.html>

<本リリースに関するお問い合わせ先>

東急不動産株式会社 広報室 林・高橋 E-mail : tlc-hodo@tokyu-land.co.jp

東急リゾーツ＆ステイ株式会社 ブランディング広報室 平田 E-mail : koho@tokyu-rs.co.jp

株式会社ファインダーズ AI ジャパン 広報担当 申 ヘヨン E-mail : contact_jp@fainers.ai